

科目名 Course Name	医療的ケアIV Medical Care IV	ナンバリング No.	J 4-008
年次	2 年	期別	後期
		単位数	1
担当者氏名	和田 晴美		
連絡方法	C-Learning で対応。 または福祉棟 2F 研究室。 オフィスアワーは授業担当時間以外。		
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)		
関連 DP	DP2,DP3,DP5		
授業の概要と到達目標	<p>医療的ケア I ～ III で学んだ知識と実施手順をもとに、養成課程カリキュラムに規定された回数を演習する。医療的ケアが必要な利用者に、安全で確実なケアが実施できるよう繰り返し演習をおこない、技術の確認をする。</p> <p>①喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管カニューレ内)及び経管栄養(胃ろう・経鼻経管)を手順通りに実施できるようにする。 ②吸引及び経管栄養を受けている利用者の状態に注意し、異常を早期発見できるようにする。 ③医療的ケア実施後の報告と記録を適切に実施できるようにする。 ④緊急時の観察と救急蘇生法を実施できるようにする。</p>		
授業の方法	シミュレータを用いた少人数による演習であり、演習評価表にもとづき進めていく。実施後は各自が自己評価表を記載し、振り返りをする。		
学習成果	L01		
	L02	喀痰吸引および経管栄養を、対象への適切な声掛けや観察を行いつつ、手順にそって実施することができる。	
	L03		
	L04	医療的ケア実施にあたり、医師や看護師との連携の必要性を説明することができる。緊急時への対応を適切に実施することができる。	
課題に対するフィードバック	演習1回ごとに、技術評価表を記載する。手順の違いや不足点はその都度個別に指導する。		
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第 15 巻 医療的ケア 中央法規出版(医療的ケア I・II・IIIと同じ)		
履修上の留意点やルール等	医療的ケア I ～ III を履修し単位を修得していること。演習回数は決められているため、欠席すると必ず補講を行う。遅刻・欠席することのないよう体調管理に努めること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。		
担当教員の実務経験			

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	既習学習を活かし、積極的に参加している。自主的にメモをしている。テキストや資料、技術評価表を活用し、イメージトレーニングにより技術習得に向けて努力している。		10		
レポート/作品	各演習(5種類)の技術評価終了後に「自己評価表」を記載し終了後提出。S評価:できる・できないを明確にし、対策を立てている。		20		10
発表					
小テスト					
試験	技術修得の確認評価は「技術評価表」にもとづき、各演習の5回目におこなう。S評価:手順通りに実施でき、1回で合格している。		40		20
その他					
合 計			70		30

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって) 演習1 口腔内吸引【デモンストレーション、演習①】
	事前・事後学習	吸引・経管栄養の手順・手技を確認し、ノートに記載する。
2	授業内容	演習2 口腔内吸引【演習②③】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
3	授業内容	演習3 口腔内吸引【演習④⑤技術評価】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
4	授業内容	演習4 鼻腔内吸引【デモンストレーション、演習①②】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
5	授業内容	演習5 鼻腔内吸引【演習③④】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
6	授業内容	演習6 鼻腔内吸引【⑤技術評価】 気管カニューレ内吸引【デモンストレーション、演習①】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
7	授業内容	演習7 気管カニューレ内吸引【演習②③】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
8	授業内容	演習8 気管カニューレ内吸引【演習④⑤技術評価】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
9	授業内容	演習9 胃ろう経管栄養【デモンストレーション、演習①】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
10	授業内容	演習10 胃ろう経管栄養【演習②③】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
11	授業内容	演習11 胃ろう経管栄養【演習④⑤技術評価】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
12	授業内容	演習12 経鼻経管栄養【デモンストレーション、演習①】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
13	授業内容	演習13 経鼻経管栄養【演習②③】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
14	授業内容	演習14 経鼻経管栄養【演習④⑤技術評価】
	事前・事後学習	自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。
15	授業内容	演習15 救急蘇生法【デモンストレーション、演習、技術評価】
	事前・事後学習	自己評価表記載。提出の準備。